資料４

**肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について**

**１．重点勧奨対象への受検勧奨の取組について**

取組の方向性

府がん対策推進計画にて肝炎ウイルス検査の受診促進のため「感染の高リスク集団を特定し、

累積受診者数の増加を図る」こととしている。それに基づき令和元年度肝炎肝がん対策部会にて、

「60歳代から70歳代を重点勧奨の対象集団とする」ことに決定。

→重点勧奨の対象集団を中心に普及啓発をより一層強化。

**＜令和３年度までの取組＞**

○健康サポート薬局との連携による啓発

健康サポート薬局に配置の肝炎医療コーディネーターがティッシュ等を

用いた対面勧奨を実施。受検希望者に対し、委託医療機関を紹介。

○アカカベ薬局との連携による啓発

肝炎医療コーディネーター

（府内　約2,300名）

北河内地域にある店舗を中心にティッシュ等を用いた勧奨を実施。

○患者団体による啓発

地域での患者講義等でティッシュ等を用いた啓発を実施。

**＜令和４年度の取組(案)＞**

○医療機関と連携した啓発

重点勧奨対象が多く通う診療科(例:眼科、整形外科等)にて、啓発資材を用いた対面勧奨を実施。

委託医療機関以外に通う重点勧奨対象に対し、医療従事者から対面で、肝炎のリスクや検査の必要性を具体に示し説明を行うことで、効果的な受検勧奨を行うことが可能。

○関係団体と連携した啓発

・　拠点病院の主催する市民公開講座等のイベントにて、肝炎の基礎知識と肝炎ウイルス検査

についての啓発動画等を用いて勧奨を行う。

・　府医師会や市町村、保健所、患者団体等の関係団体を通じ、啓発資材や委託医療機関リスト

を用いた検査の案内を行う。

＜啓発資材イメージ＞

リーフレット　：　府実施及び市町村実施検査の内容を網羅。対象を限定せず、市町村の個別

案内などにも同封でき、イベント等でも配布しやすいよう作成予定。

ポスター　 　：　府の助成制度について紹介。専門・協力医療機関及び府内の病院、健康

ポート薬局等に掲示し、対象者へ助成制度の周知徹底を図る。

**２．その他報告**

**＜府保健所肝炎ウイルス検査について＞**

新型コロナで休止中の府保健所検査について、令和４年３月末での廃止が決定。引き続き委託医療機関にて検査を実施することから、府保健所は受検勧奨や委託機関の紹介を継続。